

広報

あしや

2003年9月15日号
(平成15年) No.876

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

ホームページ

http://www.city.ashiya.hyogo.jp/

メールアドレス

info@city.ashiya.hyogo.jp

9月21日(土) 30日

秋の全国交通安全運動

今年も秋の全国交通安全運動が始まります。
一人ひとりが交通ルールを守り、正しい交通マナーで交通事故防止に努めましょう。

問い合わせ 道路課 ☎2063



夜間走行に注意!



防災総合訓練を行いました
9月3日、総合公園と岩園小学校の2カ所で、自主防災組織、学校や地域のかたがたの協力を得て防災訓練を実施しました。

運動の重点

- ・高齢者の交通事故防止、特に夕暮れどきにおける歩行中の交通事故防止
- ・シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

中の高齢者の交通事故が増えています。ご注意ください。
シートベルト・チャイルドシートを着用を徹底してください。
秋は日の沈むのが次第に早くなりますので、ライト等の早めの点灯を心がけ、交通事故防止に努めてください。

芦屋病院が
病院機能評価の認定
を受けました

平成15年8月18日から5年間の病院機能評価の認定を、(財)日本医療機能評価機構から芦屋病院が受けました。

(財)日本医療機能評価機構は、医療機関の第三者評価を行い、医療機関が質の高い医療サービスを提供していくための支援を行うことを目的として、日本の医療水準の向上のための重要な事業として設立されています。

この認定を受けたことにより、社会からの信頼を得、質の高い医療を行っている病院であるという評価がされたこととなります。

これからも、市民の健康保持に必要な地域医療の中核として一層の努力を図っていきます。

問い合わせ 芦屋病院総務課 ☎31-2156

市内の交通事故発生状況

(平成15年6月末現在)

区分	人身事故 件数	死者	傷者	
			死者	重傷
平成15年	260件	0人	302人	18人
平成14年	249件	0人	305人	22人
増減	+11	0	-3	-4

市職員(消防職)を募集します

問い合わせ 消防本部総務課 ☎2095

〒659-0064 精道町8-26

受験を希望されるかたは、所定の受験申込書・受験票等の必要書類をそろえて申し込んでください。
採用案内は、九月十六日(火)より市役所本庁舎北・南館受付および消防本部総務課で配布します。
郵便で採用案内を請求される場合は、必ず百四十円切手を貼った返信用封筒(角二号)を同封してください。
また、郵便による受験の申し込みは、必ず受付期間中に届くように消防本部総務課あてに送付してください。

受付期間
九月十六日(二十五日) 午前九時～午後五時十五分(土・日曜日を除く)
試験日
十月十九日(日)
試験会場
市役所分庁舎・会議室
採用予定日
平成十六年四月一日
職種および募集人員
消防職 七人
受験資格
* 大学卒
昭和五十三年四月二日以降出生の

市立幼稚園新入園児を募集します

問い合わせ 教育委員会総務課 ☎2085

ください

* 入園願書の提出は一園のみに限り
ます
受付時間: いずれも午後二時～三時

平成十六年四月の新人園児を募集します。自由園区(小学校には校区あり)です。ご希望の幼稚園に通園が可能です。ただし、徒歩通園できる幼稚園をお選びください。
保育方針の継続性、保育の一貫性という観点から、お子さんが卒園まで同じ幼稚園で保育を受けることが望ましいと考えられますので、この点もご考慮いただくようお願いいたします。

幼稚園の所在地と受付指定日

幼稚園名	住所	電話番号	受付指定日
精道幼稚園	川西町11-10	22-0208	10月15日(水)
宮川幼稚園	浜町1-20	22-5995	10月15日(水)
岩園幼稚園	岩園町24-3	22-5038	10月15日(水)
小槌幼稚園	打出小槌町15-7	22-4885	10月15日(水)
朝日ヶ丘幼稚園	朝日ヶ丘町10-3	32-0278	10月22日(水)
西山幼稚園	西山町22-15	32-5457	10月15日(水)
伊勢幼稚園	伊勢町13-14	31-8313	10月15日(水)
潮見幼稚園	潮見町1-3	34-0710	10月16日(木)
浜風幼稚園	浜風町1-2	31-1505	10月15日(水)

かたで、学校教育法による四年制大学を卒業したかた。または、平成十六年三月までに卒業見込みのかた
* 短大卒または高等専門学校等卒
昭和五十五年四月二日以降出生のかたで、学校教育法による短期大学、高等専門学校もしくは専修学校専門課程(修了年限一年以上)を卒業したかた。または、平成十六年三月までに卒業見込みのかた
* 高校卒
昭和五十七年四月二日以降出生のかたで、学校教育法による高等学校を卒業したかた。または、平成十六年三月までに卒業見込みのかた
* 詳しくは、芦屋市職員採用案内(消防職)をご覧ください。

凡例... 日時(日程)、開会場・場所、内容、対象・定員、講師、出演、費用(記載の無い場合は無料)、持ち物、申し込み、問い合わせ

ごあんない Report

おしらせ

芦屋病院以外でも薬が受け取れるようになります

10月1日から、芦屋病院で院外処方が出るようになります。この院外処方せんを提示すれば、お近くの保険調剤薬局でも薬が受け取れるようになります。

動物慰霊祭
9月22日(月)10時30分～12時 芦屋市霊園・動物塚前(雨天は霊園事務所2階) 芦屋動物愛護協会(☎38-2033 経済課内)

高齢者スポーツ大会
10月5日(日)10時～14時30分(雨天中止) 芦川西運動場 高年福祉課(☎38-2044)

幼児の食事とおやつ教室
10月10日(金)10時～11時30分 保健センター 2～3歳児と保護者、30人 野菜の上手な与え方(試食) 保健センター(☎31-1586)

スポーツワンポイントレッスン・ゴルフ
10月13日(月・祝)13時～16時(30分指導) 芦屋カントリー倶楽部 20歳以上 日本プロゴルフ協会インストラクター・森裕典氏 10月6日(月)までに、電話かファクスで 園スポーツ・青少年課(☎22-7910 FAX 22-6924)

腰痛改善教室
10月8日～11月26日、毎週水曜日13時20分～14時40分 体育館・青少年センター 6人(面接あり) 12,000円 9月18日(木)13時から電話受付 園スポーツ振興課(☎31-8228)

国際交流協会(ACA)からのお知らせ
園&園国際交流協会(☎34-6340 大原町2-6-209) 【ACAティータイムセミナー】
9月20日(土)14時～16時 園「国際文化住宅都市芦屋」のまちづくり/前市長・北村春江氏 50人(要予約) 園会費500円、非会員1,000円(お茶・菓子付) 【カルペディエムの会】
9月26日(金)15時～16時30分 園シャンソンの会 20人(要予約) 園コピー代
【海技大学校研修生市内見学同行ボランティア募集】
10月24日(金)12時30分～16時 園研修生(フィリピンほか)とスタンプラリー 30人程度(簡単な英会話ができるか) *説明会:10月10日(金)13時30分～

「源氏物語」原典を読む講座
9月22日(月)10時～12時 市民センター401室 園鈴木紀子氏 700円 園直接会場へ 園谷崎潤一郎記念館(☎23-5852)

緑の相談所
9月22日(月)10時～12時 市民センター401室 園鈴木紀子氏 700円 園直接会場へ 園谷崎潤一郎記念館(☎23-5852)

軍人恩給の受給資格を調査します
園軍人(または未亡人)で、軍人恩給の未請求者 園市地域福祉課にある「履歴申立書」に必要事項を記入し、終戦当時の本籍地の都道府県へ申請 園兵庫県援護室恩給係(☎078-341-7711)

動物愛護推進員養成講座
10月～12月(全4回) 園未定 園動物愛護論、犬の行動学・行動矯正・しつけ方、動物の飼育管理・疾病、法令ほか 園&園 9月24日(水)までに、兵庫県生活衛生課動物衛生係(☎078-341-7711)

土木現場ウォッチング
10月25日(土)10時～16時 園JR西ノ宮駅北側集合 蓬萊峡ほか 阪急塚口駅解散 園小学生と保護者40人 園往復はがきに住所・参加者全員の氏名(1枚につき4人まで)・年齢・電話番号を記入し、10月9日(消印有効)までに下記へ、応募多数の場合抽選 園兵庫県阪神南泉民局西宮土木事務所技術専門員(☎0798-23-7788 〒662-0854 西宮市塚塚町2-28)

障害者就職面接相談会
9月26日(金)13時～15時30分(14時30分まで受付) 園ホテルニューアルカイク3階(尼崎市) 園身体障害者手帳、履歴書(写真貼付・複数枚)、筆記用具 園ハローワーク西宮専門援助部門(☎0798-75-6715)

県立障害者高等技術専門学院生募集
園身体に障害のある求職者、各科10人 療育手帳所持者、15人 園情報システム科、パソコンNC科、宝飾工芸科、パソコンCAD科、食品加工科 園10月15日(水)までに西宮公共職業安定所(☎0798-75-6711)へ 園県立障害者高等技術専門学院(☎078-927-3230)

兵庫障害者職業能力開発校訓練生募集
園障害を有する人など、一般の能力開発施設での訓練が困難な方。各科20人 園臨床検査科、メカトロニクス科、OAシステム科、グラフィックアート科、情報ビジネス科 園10月9日(木)までに下記へ 園立兵庫障害者職業能力開発校(☎072-782-3210)

納期
9月30日まで 法人市民税・事業所税(7月31日決算の法人等) / 課税課管理担当 ☎38-2015 介護保険料(普通徴収・第3期分) / 高年福祉課介護保険担当 ☎38-2046

毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」
環境にやさしいドライブマナーを

住宅・土地統計調査にご協力ください

問い合わせ 総務部総務課 ☎38-2010
対象 総務大臣が指定した調査区から無作為に抽出した世帯
期間 9月下旬～10月上旬に調査員が訪問
調査票は、平成15年10月1日の状況でご記入ください
目的 少子・高齢社会を支える居住環境の実態 耐震性・防火性などの住宅性能水準の達成度 土地の有効利用に係る実態について重点的に把握し、住宅・土地施策の資料を得ることを目的とします。調査結果は、統計上の目的以外に利用することはありません。ご理解、ご協力をお願いします。

総合公園を育てる市民の会「PMOあしや」会員募集

問い合わせ 公園緑地課 ☎38-2065
総合公園は、8月から陸上競技場の芝生部分も使用できるようになり、サマーカーニバルをはじめ、サッカーやラグビーの大会等が行われています。市民の総合公園を市民の皆さんの手で利用、活用、維持管理していただくため、昨年から市民の有志のかたがた話し合い、活動を進めてきました。手作りの開園記念イベントなどを経て、このたび公園を育てる市民の会「PMOあしや」が発足しました。これから、総合公園と一緒に活動できる会員を募集します。花と緑・スポーツ・イベント・写真など、興味をお持ちのかたの参加をお待ちしています。

市給付金等を口座振込で受領される皆さんへ

下記の給付金等を口座振込により受け取られるかたで、届出されている銀行口座等を変更された場合(銀行の統合による変更は除く)は、早急に担当課までご連絡ください。
児童手当、児童扶養手当等 児童課児童福祉担当 ☎38-2045
食料料、補装具、高額療養費等 保険年金課保険担当 ☎38-2035
福祉医療、高額医療費 保険年金課医療助成担当 ☎38-2037
敬老祝金、長寿祝金 高年福祉課高年福祉担当 ☎38-2044
奨学金、就学奨励費 教育委員会総務課 ☎38-2085

公民館教育問題講演会

日時 10月6日(月) 午前10時～11時30分
会場 市民センター401室
講演 「今日から役立つのびの子育て～子育てマニュアルさようなら」
講師 大手前大学教授・仲野好重氏
対象 30人(P.T.A.会員枠有り)
託児 300円(P.T.A.会員無料)

申し込み P.T.A.会員は各学校園へ、一般参加は電話かファクスで下記へ(先着順)
問い合わせ 公民館 ☎35-0700/FAX22-6924

育児教室のお知らせ

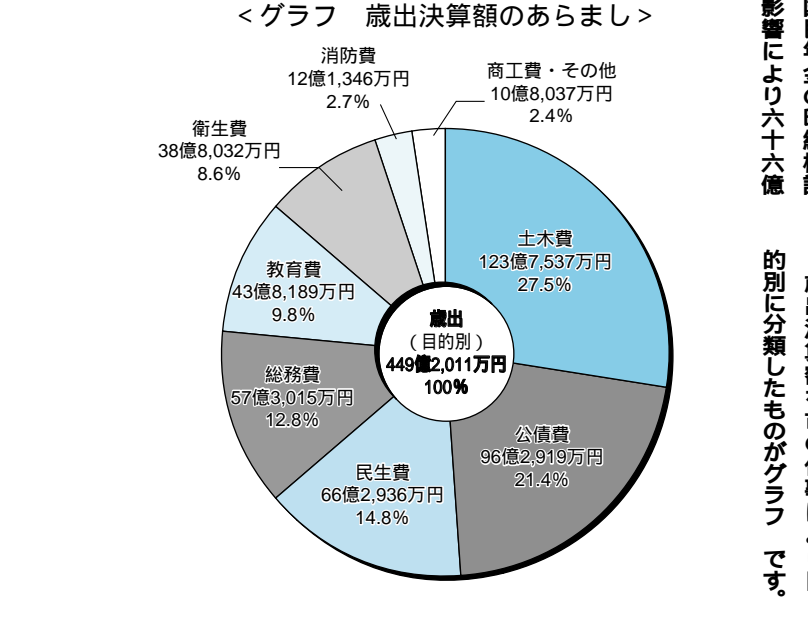
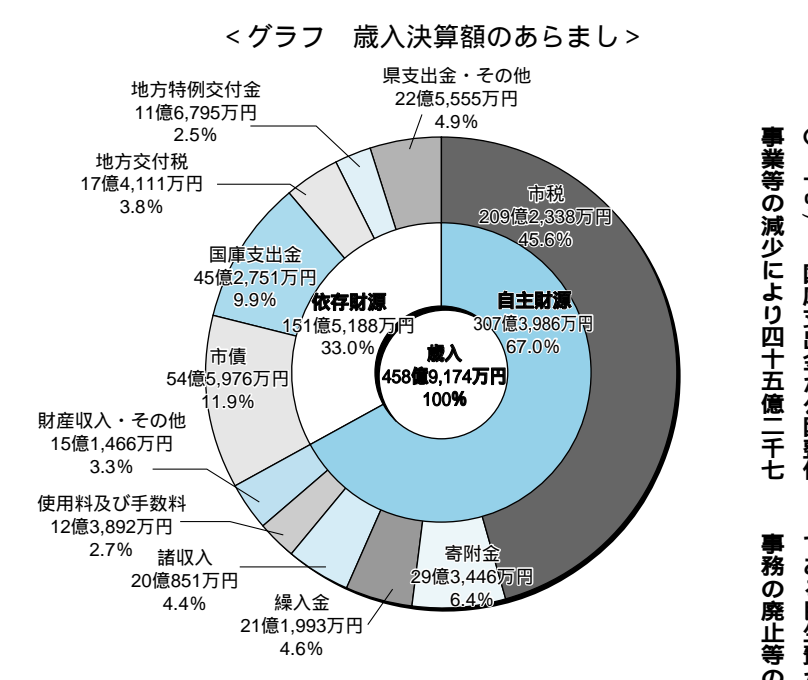
打出保育所・遊戯室
日時 10月8日・15日・22日・29日 (4回シリーズ)午前10時～11時
申し込み 打出保育所(☎/FAX 22-5725)
緑保育所・遊戯室
日時 10月9日・16日・23日・30日 (4回シリーズ)午前10時～11時
申し込み 緑保育所(☎/FAX 34-0715)

【対象】いずれも平成14年4月1日～15年4月2日生まれの子供、10組
【内容】触れ合いあそび、食事の話、子どもの健康、手作りおもちゃなど
【申し込み】9月16日から19日までに電話かファクスで希望の保育所へ 児童名・生年月日・保護者名・住所・電話番号をお知らせください。希望者が多数の場合は抽選。結果は、はがきで通知します。
問い合わせ 児童課 ☎38-2045

市民1人当りに使われたお金

土木費	公債費	民生費	総務費	教育費
139,934円	108,882円	74,961円	64,794円	49,548円
衛生費	消防費	議会費	諸支出金	商工費
43,877円	13,721円	4,993円	3,271円	2,990円
災害復旧費	労働費	農林水産業費	合計	507,933円
543円	213円	206円		

市民1人当りに使われたお金は、それぞれの歳出額を平成15年3月31日現在の人口(88,437人)で割った額です。



平成十四年度は、前年度に引き続き、土地区画整理事業や街路事業の震災復興事業を最優先として取り組み、芦屋西部第一地区震災復興土地区画整理事業が完成しました。また、総合公園の北側区域、約八・五ヘクタールが完成し、部分譲渡を受けて供用を開始しました。多額の震災関係経費の影響により、平成十四年度末における一般会計の

歳入のうち最も多いのは、市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入ですが、譲渡所得の減少や地価下落等の影響で前年度に比べ二・七%減少し、二百九億二千三百三十八万四千円となりました。そのほか主なものは、市債が土地区画整理事業や小学校整備事業等の減少により五十四億五千九百七十六万一千円(前年度比三〇・一%)、国庫支出金が公園整備

主なものでは、復興等のための経費である土木費が土地区画整理事業や公園整備事業の減少により前年度比三五・七%、福祉のための経費である民生費が国民年金の印紙検認事務の廃止等の影響により六十六億

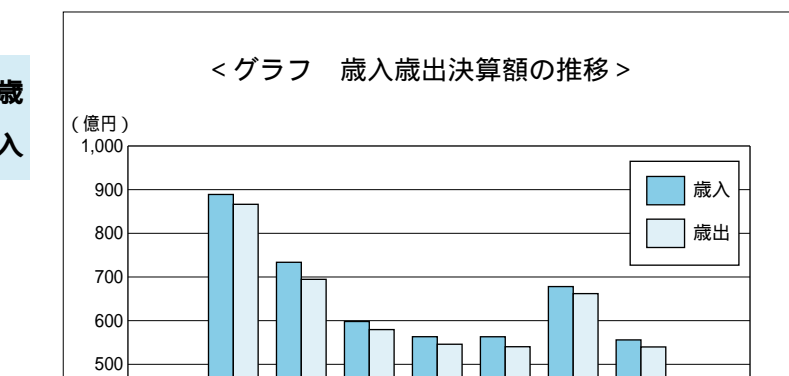
二千九百三十五万八千円(前年度比二二・〇%)となっています。また、借入金の返済のための経費である公債費は、前年度に比べ一・〇%増加し、九十六億二千九百九十九万五千円となりました。厳しい財政状況ではありますが、行政改革を推進し、今後も限られた財源の有効利用に努めてまいります。歳出決算額を市の仕事により目的別に分類したものがグラフです。

二百九百三十五万八千円(前年度比二二・〇%)となっています。また、借入金の返済のための経費である公債費は、前年度に比べ一・〇%増加し、九十六億二千九百九十九万五千円となりました。厳しい財政状況ではありますが、行政改革を推進し、今後も限られた財源の有効利用に努めてまいります。歳出決算額を市の仕事により目的別に分類したものがグラフです。

平成14年度 一般会計決算概要 昨年度市の予算は このように使われました

問い合わせ 財政課 ☎38-2011
平成14年度の決算見込みがまとまりましたので、一般会計についてお知らせします。

一般会計における決算額は、歳入は四百五十八億九千七百三十九万九千円、歳出が四百四十九億三千九百九千円となっています。前年度に比べ歳入は八十九億二千六百六十六万八千円(一六・三%)、歳出は九十三億三千八百八十万二千円(一七・二%)減少しており、歳入から歳出を差し引くと九億七千七百六十三万円で、翌年度へ繰り越す財源(平成十五年)度へ繰り越した事業に充てる財源五億八千三百九十七万九千円を控除した実質的な黒字は三億八千七百六十五万一千円となっています。



五百一十一万(前年度比二九・三%)などとなっています。グラフは歳入決算額のあらしを示したものです。主なものは、復興等のための経費である土木費が土地区画整理事業や公園整備事業の減少により前年度比三五・七%、福祉のための経費である民生費が国民年金の印紙検認事務の廃止等の影響により六十六億

二千九百三十五万八千円(前年度比二二・〇%)となっています。また、借入金の返済のための経費である公債費は、前年度に比べ一・〇%増加し、九十六億二千九百九十九万五千円となりました。厳しい財政状況ではありますが、行政改革を推進し、今後も限られた財源の有効利用に努めてまいります。歳出決算額を市の仕事により目的別に分類したものがグラフです。

9/15(6:00~)~9/30(~24:00)		開始時刻
1時間目	00 あしやNOW(*) フォーカス芦屋「予防接種の基礎知識」	6:00
	20 リビート9ch(あしや自然百科)(※再放送)	8:00
	30 「仲ノ池 今昔~現在の仲ノ池」(平成10年9月放送)	10:00
	40 チャレンジリポート(*) 「大型ごみの収集にチャレンジ」	12:00
2時間目	00 広報とっとりきり(*) 芦屋川で「水生生物調査」をしませんか	14:00
	20 ウォーターパークウォッチング ほか	16:00
	00 芦屋市民企画番組(*) 「車いすの小さな旅」	18:00
	20 西宮ライブラリー 町名の由来「石在町」	20:00
	30 ニッポンみたま(30分) 「国産材を使って地球温暖化を防止しよう！」	22:00

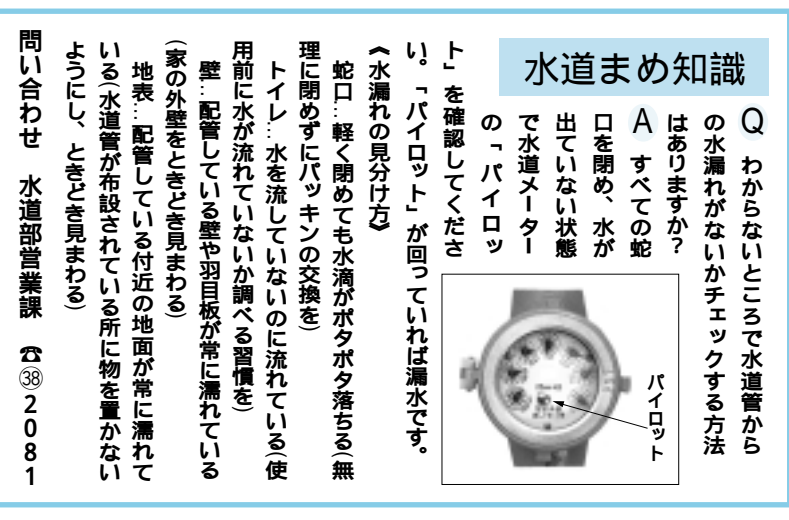
放送時間 6:00~24:00(上記の順に毎朝6時から2時間サイクルで9回繰り返し放送します)
(*)印の番組はビデオの貸出可 広報チャンネル(9ch)に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006
CATV全般に関する問い合わせ 機ケーブルネット神戸芦屋(J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

9ch 広報番組ガイド
あしや秋まつり 緑日出店募集
秋まつり日程 10月12日(日)
会場 精道小学校 グラウンド
対象 芦屋市商店街加盟店・福祉団体・公共の団体、25店舗(先着順) 申し込み 9月16日から24日に、所定の申込書で商工会(☎23-2071)へ
問い合わせ あしや秋まつり協議会事務局(コミュニティ課内)☎38-2007

公民館 おしやべり音楽会
日時 10月4日(土)午後1時30分~3時15分
会場 ルナ・ホール
出演 西垣俊朗(テノール) 西垣千賀子(ソプラノ) 今岡淑子(ピアノ) 芦屋川木曜コーラス
曲目 約束/里の秋 God help!
贈る言葉 ほか
申し込み 直接会場へ
問い合わせ 公民館 ☎35-0700

第46回市民寄席 ざごば・南光・小米朝三人会
日時 11月21日(金)午後6時30分開演(午後6時開場)
会場 ルナ・ホール 入場料 前売2,500円 当日3,000円(全席指定) 9月17日から発売。前売り券売り切れの場合、当日券の発売はいたしません。お子さんの入場はご遠慮ください 演目 月並丁稚/桂ちようば、へつつい盗人/桂ごころう、質屋蔵/桂南光、つば算/桂小米朝、天神山/桂ざごば
チケット発売 モンテメーラル大奮、市役所売店、文化振興財団事務所、ローソンチケット、チケットぴあ
問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

水道まめ知識
Q わからないところで水道管から水漏れがないかチェックする方法はありますか?
A すべての蛇口を閉め、水が出ていない状態で水道メーターの「パイロット」を確認してください。
「パイロット」が回っていれば漏水です。
(水漏れの見分け方)
蛇口:軽く閉めても水漏れがポタポタ落ちる無しに閉めてもパッキンの交換を
トイレ:水を流していないのに流れている使用前に水が流れていないか調べる(習慣を)
壁:配管している壁や羽目板が常に濡れている(家の外壁をときとき見まわす)
地表:配管している付近の地面が常に濡れている(水道管が布設されている所に物を置かないようにし、ときとき見まわす)
問い合わせ 水道部営業課 ☎20881





床に寝転び身体の輪郭を縁取る：ホールワークショップで

見る さわる 感じる 美術博物館

美術博物館で行っている、さまざまな教育普及活動をお知らせします。ホームページ(<http://www.ashiya-web.or.jp/museum/>)でも、さまざまな催しをお知らせしています。ぜひご覧ください。

教育の ページ

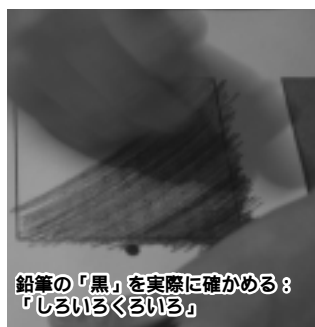
このページの問い合わせは 美術博物館(☎38-5432)へ

美術

美術を通したコミュニケーション

「美術のかたち。実験場」とホールワークショップ

ここ数年の教育普及活動により、「子ども造形教室」や「ホールワークショップ」といった館内の事業のほか、幼稚園や子育てグループ、図工研究会や大学生の特別課外授業など外部機関との連携からさまざまなワークショップが増えました。この夏開催した展覧会「美術のかたち。実験場」では、尼崎市小学校図工研究会の研修、大手前大学特別授業、神戸女子短期大学特別授業「世界の美術館」を受け入れ、ワークショップを行いました。「しろいろくるいろ」「丸と点」といったプログラムを通して、実際に手を動かしてその感覚から発見できること。「手で考える感覚」について理解していただけたことと思います。



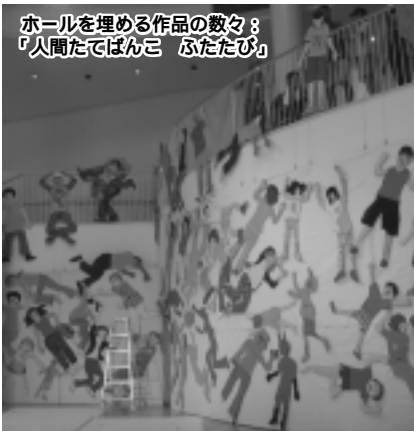
鉛筆の「黒」を実際に確かめる：「しろいろくるいろ」

全10回行った恒例のホールワークショップでは、人数や年齢、また参加する時間帯に制限がありません。当日どれくらいの参加があるかわからないのは、材料の準備など、受け入れ側にとっては不安なことですが、実はこのしゅみがかがホールワークショップを活気づける大きな原因にもなっています。例えば「小学生20人まで」というような形態と違い、ホールワークショップではいろいろな人が参加します。子ども同士はもちろん、親子連れ、若いカップル、時には教育関連の専門家の参加もあります。こうした場で見えてくるのは、参加者それぞれの趣味や考え方といった「発想の違い」なのです。

7月26日(土)に行われた「人間たてばんこ、ふたたび」では子どもから70代のかたまで実に幅広い年齢の参加がありました。ホールの床に寝転がる、鉛筆で自分の身体の輪郭を縁取っていく、180cm×90cmもある板段ボールを金ノコでざくざくと切り抜いていく。比較的年齢の高いかたがたが汗をかきながら「こんなことするの初めて！」と独自の世界を生み出していく様子は、周りの子どもたちにも影響を与えるほどのエネルギーに溢れていました。

ホールワークショップはこちらが投げかけた導入に対してどう面白がるか、言い換えれば自分のこだわ部分を見つけるところから活動が始まります。「じっくりつくる」「さらっとつくる」「とにかく数をこなす」など、参加者がどうしたいか自分で考えて決める。そしてそれぞれの「個」が現れホール全体を埋めつくした時、共通する発想そして違う発想が見えてきます。

美術博物館での体験は「自分はどう感じるか、考えるか」が基本になります。それぞれが出会うことによって生まれるコミュニケーションの場。これからは、ワークショップを通してさまざまな発想が行き交うそんな場づくりをしていきたいと考えます。



ホールを埋める作品の数々：「人間たてばんこ ふたたび」

歴史

木版体験学習 『伊勢物語』の彫りと摺り



原画を転写した版木を彫る

『伊勢物語』第87段が芦屋を舞台とし、芦屋浜と布引滝が歌名所として登場するのをご存知でしょうか。美術博物館では市制施行60周年を記念した特別展「伊勢物語と芦屋」を開催した際、京版木の体験学習教室を行いました。

竹中木版5代目・竹中健司氏の指導のもと「嵯峨本伊勢物語」の「芦屋の浜図」と「布引の滝図」を原画として利用し、いずれか好みの作品を彫って摺り、限定木版画を制作しようとする試みです。

まず、嵯峨本から両挿図の写しをとり、それを反転させて原図とすることから始めます。受講生には『伊勢物語』第87段の全文をテキストとして用意し、芦屋市内の伊勢物語古跡図を添付して理解を深めていただきました。また、たった2日間で彫って摺るという強行スケジュールであったため、毎年7月から8月にかけて受け入れている博物館実習生がサポートを行いました。

実際の作業工程を列記してみますと、まず、反転させた原画のなかから「芦屋の浜」が「布引の滝」を選定し、決まれば描線を太マジックペンでなぞっていきます。そして、4色以内に色分けして版木(B4サイズ)に転写していくわけです。

この段階で、自分の技量と制作時間のことを考えて4色を2色に、あるいは登場人物を3人から1人にするなど受講生によって原画は少しずつ違ったものになっていきました。ほぼ時間内に彫りが一段落し、いよいよ試し摺りに挑戦です。微妙なズレや色調のバランスなど実際に摺ってみなければわかりません。そして、試し摺りをもとに最終調整に入ります。この段階でも、3色刷りの用意をされたのに墨1色に変更されたかたや、色をもっと欲しいということで手彩色や裏彩色の技法を活用されたかたもありました。かくして、同じ原画を選ばれたかたもそれぞれが違った雰囲気の商品に仕上がりました。



試し摺りでズレやバランスを確認

今回の教室は、2日間で木版画の彫りと摺りを体験するという欲張った内容であったため、それぞれの技法を十分に習得することが出来なかったようです。次年度(平成16年)には芦屋の伊勢物語古跡を参加者自らが描き、それを原画として彫りと摺りを実施する体験学習を予定しています。完成作品は、できれば展示したいと考えています。ぜひご参加ください。

歴史散歩 53

芦屋ゆかりの人々 生田春月

芦屋が住宅地として、全国的に有名になってきたのは大正期になってからのことです。なかでも、阪神沿線の海浜地域がその中心といえました。当時、健康保養地としての側面が強かったからで、特に夏の貸別荘は大変な人気だったといわれています。

詩人にして翻訳家、ハイネ研究の先覚者としても知られる生田春月(一八九二-一九三三)もまた、芦屋の住環境に惹かれてやってきた人物です。春月は九歳のころから作詩をはじめたほどの早熟でしたが、家業が思わしくなく、さまざまな職に就きながら独学で自らの鍵盤を築き上げたひとです。昭和三年(一九二八)四月と記されている「芦屋にて」(『生田春月全集第八巻』)には以下のような随想が書かれています。 「阪神電車の踏切を越して、村役場の前をずっと海岸まで導いている真白な広い道と、芦屋川の川ぞいみちとの間が、細長い遊園地になっていて、白い砂地の松林の中には、休息所があったり、テニスコートがあったりする。夏になると、小学校では、机を持ち出してここで授業するのだという。いちばん自由な林間学校である。芦屋の児童は幸福だと思ふ」

また、思想的葛藤のなかで「芦屋に来て、ようやく私は落ち着くことが出来た。世を傍びて、ひとり住むべき隠者的な人間だ、とつくづく思う」とも述べています。ここに見られるように芦屋は住環境のすばらしさだけでなく、物寂しい隠遁場所としての側面も、持っていたようです。



屋下りの芦屋遊園

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432